

READ the ART

アートを読む

図書館サポーター推薦企画展示

2019.1.7 - 2019.2.28

芸術を文字から感じてみよう。

Feel the Art

from the Words.

● リストの見方

資料タイトル / 著者
所在 & 請求記号
図書館サポーターからのコメント

路上観察学入門 / 赤瀬川原平, 藤森照信, 南伸坊編
大岡山 : B1F-一般図書 361.78/A
宙に繋がる高所ドア、行き先のない階段、道路上の何の意味もない突起物…それは、道端に点在する無用の建築物"トマソン"である。それは芸術と違い意図せずして生まれ、芸術以上に実用性のない、いわば芸術を超えた「超芸術」。かしこまった芸術鑑賞から脱出して、街を歩く。マンホールを、消火栓を、女子高生の制服を観る。われわれの生活空間を一步ズレた目線で楽しむために、路上観察学への入門をすすめたい。

ヒトはなぜ絵を描くのか : 芸術認知科学への招待 / 齋藤亜矢著
大岡山 : B1F-一般図書 408/I/221 すずかけ台 : 3F-一般図書 408/I/221
ヒトの子供は円と円を組み合わせて絵を書く。でもDNAの違いがわずか1%のチンパンジーはそれができない。両者の比較からわかることは？ 人が絵を描けるのは、今ここにはないものをイメージして補うという特性である。これは言語の獲得と関係しているらしい。他人とイメージを共有する喜びというコミュニケーションツールとして使われているのである。芸術と科学の行き来を楽しみながら人とは何か考えよう。

エッシャー・マジック：だまし絵の世界を数理で読み解く / 杉原厚吉著

大岡山：B1F-一般図書 414.6/Su

「空と水」「滝」などで知られるオランダの画家、マウリッツ・エッシャー。その代表的なモチーフである「平面の正則分割（タイリング）」「だまし絵」を数理的に読み解く一冊。エッシャーの作品は幾何学的要素を多分に含んでおり、東工大生にとっては親しみやすいのではなかろうか。この本を片手に、実際に作画してみるのも面白そうだ。

爆発の仕組みを化学する / 齋藤勝裕著

大岡山：B1F-一般図書 575.9/Sa

『芸術は爆発だ！』とは、かの有名な芸術家岡本太郎の遺した言葉である。そして今回の企画展示のテーマは「芸術」。とすれば今回紹介する本はもちろん!?「爆発」についての一冊。
地球上で起きる様々な「爆発」について化学した本著を読めば、爆発との上手な付き合い方がわかるかもしれない。

図像学入門：疑問符で読む日本美術 / 山本陽子著

大岡山：B1F-一般図書 702.1/Y

美術館や博物館で、展示作品を前に何をどう見ればいいのかと途方に暮れた経験はありませんか。文化や生活環境の変化で我々には判らなくなってしまった作品の意味や、どういった状況でこの表現になったのか、という制作の裏事情をフランクに解説します。昨今、琳派や若冲が一大ブームになるなど日本美術への関心は高まっており、展示も充実しています。鑑賞前に是非一度読んでみてほしい一冊です。

ほんものの日本人 / 清野由美文 ; 藤森武写真

大岡山 : B1F-一般図書 702.16/Ki

流行が目まぐるしく変化する中でも、時間がたっても輝きを放ち続ける「ほんもの」は存在します。本書は、彫刻家、陶芸家、人形作家や画僧、芭蕉布作家など様々な「ほんもの」の芸術家の精神に焦点を当て、丁寧に描き出された一冊です。印象的な写真と人物像から、作品への興味がそそられるでしょう。

アートの起源 / 杉本博司著

すずかけ台 : 3F-一般図書 704/Su

芸術とはこれからの世界にとってどうあるべきか？2010年11月から1年間に渡り行われた杉本博司「アートの起源」展を機に、この本は刊行された。杉本は自身の作品を「言葉に触発されながら」生まれてきたものであることを記録するため、これまでの作品と文章をこの一冊の本にまとめた。その作品たちは時空も分野も超えてマクロに見た世界そのものであることがひしひしと感じられ、彼の作品をさらに深く知ることができる。本書の後半では、杉本博司と人類学者・中沢新一の対談も収録されており、杉本氏の芸術観をよく理解することができる。

海底美術館 / ジェイソン・デカイレス・テイラー, ジェームズ・バクストン
著 ; 内山卓則, 尾澤和幸訳

大岡山 : B1F-一般図書 717/Ta

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 和書 717/Ta

芸術は建物の中やオープンスペースで展示されるのが普通ですが、透明できれいなカリブ海の底にも美術館があります。テイラー達は彫刻を創り、海の底に沈めました。これは何と環境のためでもあるようです。これらの彫刻は人工の礁となり、サンゴを成長させ、海の生き物を増加させます。カリブ海に行くには、貯金など準備が必要なので、まずは美術館のアートをこの本で見てください！

この絵、どこがすごいのか? : 名画のひみつと鑑賞のルール / 佐藤晃子著

大岡山 : B1F-一般図書 720.79/Sa

「みんなすごいって言うけど、どこがすごいかわからない。絵画鑑賞って難しいなー」と思いませんか。実はそれ当たり前です。画家と同時代に生きた人ならば、絵を見るだけで描かれた意味が汲みとれたかもしれませんが、何百年もあとに生まれ、宗教も生活様式も異なる私たちには、画家や鑑賞者が共通して認識していた「絵を見るうえでの約束事」が、もうわからなくなっているからです、というのが著者からのメッセージ。そういう著者が名画の秘密と鑑賞ルールなどを分かりやすく解説しています。ちょっとした基礎知識がわかることで、楽しく絵画鑑賞ができます。また他にも面白い裏話を聞いてみませんか。

江戸の判じ絵：これを判じてごろうじろ / 岩崎均史著

大岡山：B1F-一般図書 721.8/I

皆さんは『判じ絵』というものをご存知でしょうか？言うなれば絵を使って出題されるなぞなぞのようなものなのですが、この本は江戸時代の判じ絵についてまとめられたものになります。またこの本の初めに基本的な見方・解き方が丁寧に書かれているので、「ちょっと興味はあるけど見方が分からない、解ける気がしない」という方も楽しめると思います。あなたも是非、江戸の人々と知恵比べをしてみたいはいかがでしょうか。

図説だまし絵：もうひとつの美術史 / 谷川渥著

すずかけ台：3F-一般図書 723/Ta

この本でいう「だまし絵」は、エッシャーに代表されるような錯視を利用する絵のことではない。架空のものであることを認識しながらも、リアリティーを感じられるような絵のことである。人を「だます」ためには単に写実的であれば良いのではなく、どのように見せるかという文脈も重要らしい。本書では、多数の「だまし絵」とその面白さが紹介されている。通常とは異なる観点から美術史を俯瞰することで、意外な発見があるかもしれない。

ビアトリクス・ポター：ピーターラビットと大自然への愛 / リンダ・リア著
; 黒川由美訳

大岡山：B1F-一般図書 726.601/P

最近実写映画化されたり展示会があったりと、「ピーターラビット」シリーズは読んだことはなくても名前は知っている、という人は多いのではないのでしょうか。本書にはピーターラビットシリーズの生みの親、ビアトリクス・ポターさんのドラマティックな生涯が600ページにわたって存分に綴られています。著名な絵画や音楽に目をむけ耳を傾ける機会があったら、ぜひその製作者にも思いを馳せてみてください。

体感するサインデザイン / 宮崎桂著

すずかけ台 : 3F-一般図書 727.087/M

私達に場所を示してくれるサインをただの看板や案内板として流し見するのではなく、一歩立ち止まってじっくり見てください。デザインの一端として、そして空間の一部として感じてみると、デザイナーが込めたサインへの思いが体感できるはずです。サインに秘められている、その場所の象徴となるような魅力を本書を通じて味わってみませんか。

文字のつくりかた : "伝わる"文字はどうやって生まれるの? / デザインの現場編集部編

すずかけ台 : 3F-一般図書 727.8/D

日常的に目にしているフォントを意識することはあまり無いのでは？しかし、“伝わる”文字を作るためにデザイナーは日々工夫を凝らしているのだ。
どこで・どのように使われるのかを考慮して太さや丸みを調整したり、場合によっては判読できる範囲で形を崩したり。何気ない一文字にもデザイナーの様々な思いが込められている。
読み終えた後は、見慣れているパッケージや広告も新鮮に見えてくることだろう。

思い通りにできる!根付の彫り方 / 田中俊晞著

大岡山 : B1F-一般図書 755.4/Ta

芸術作品を自らの手で作ってみたいと思いませんか？
何から手を付けていいかわからない初心者向けの、必要な道具や道具の手入れ方法、材料の選び方から始まり、上級者向けに立体作品や根付の彫り方まで多くの内容が詰め込まれた著作となっています。作者による作成過程の図が多く、初心者にも理解することは非常に容易であり、作品を作るにあたって工夫すべき点も多く記載されています。木工作品を作りたい方にはぜひ読んでほしい一冊です。

和の色のものがたり：歴史を彩る390色 / 早坂優子著

大岡山：B1F-一般図書 757.3/H

今様色、花染、紅碧、新橋色…どんな色か思い浮かびますか？色見本や写真、やさしいタッチのイラストをぱらぱらと眺めるだけでもわくわくするような一冊です。名前の由来やちょっとした歴史のものがたりも楽しめます。冠位十二階の最高位の帽子の色は？源氏物語に登場する姫たちの衣の色は？江戸庶民が好んだ粋な色とは？大正ロマンで女学生が着ていた袴の色は？雪が降るまだ寒い早春に地面を割って出る輝きの色、若菜色の本書で是非ご確認ください。

色をめぐる対話 / ミシェル・パストゥロー, ドミニク・シモネ著 ; 松村恵理, 松村剛訳

大岡山：B1F-一般図書 757.3/P

対話を通して、さまざまな歴史的側面からそれぞれの色のとらえられ方が時代変化によってどのように変化し、現代の私たちに影響を与えているかが解き明かされます。色は私たちの周りにありふれていますが、色の歴史を知れば、世界の見え方が変わるでしょう。

Ex-formation = エクスフォーメーション / 原研哉著, 武蔵野美術大学基礎デザイン学科原研哉ゼミ [著]

すずかけ台 : 3F-一般図書 757/H

日本を代表するデザイナー原研哉の研究室（武蔵野美術大学）の学生の卒業制作を10年分集めた総集編。『Ex-formationとは「分からせる（make things known）」のではなく「未知化(make things unknown)」すること。』（日本デザインセンター公式ホームページより）原はゼミ生の卒業制作として毎年、学生たち皆で1つの単語を選ばせ（四万十川、女、半熟、空気など）、その言葉の概念について各々が再構築・再解釈して作品にし、それを展覧会と一冊の本の出版としてまとめていました。ひとつの言葉からこんなに色とりどりの概念が生まれるなんて、彼らの豊かな創造力と発想力に引き付けられること間違いなし。

名作椅子の由来図典 : 年表&系統図付き : 歴史の流れがひと目でわかる / 西川栄明著 ; 坂口和歌子イラスト

大岡山 : B1F-一般図書 758/N

誰もが一度は見たことがある「あの」椅子。本書では名作椅子と呼ばれる椅子たちがどのようにして誕生したのかを、古代から現代に至るまでイラスト付きで解説しています。また、それぞれの椅子の特徴、名前の由来、人気の秘密といったことまで幅広く解説しているので、これ一冊で世界の椅子がまるわかり！きっとあなたもお気に入りの一脚を見つけられるはずです…。

数と音楽 : 美しさの源への旅 / 坂口博樹著

大岡山 : B1F-一般図書 761/Sa

突然ですが『ノリ』ってなんだと思いますか？ノリの定義…それは「無理数的なズレ」。例えばサンバのパーカッションは楽譜とは約1/128のズレが生じており、それがあの独特のノリを生み出しているそう。かの有名なライブニッツも『音楽は人間が無意識に数を計算することで得られる魂の快楽である』と言っています。そんな切っても切り離せない数学と音楽の関係を、図をふんだんに使って解説した読みやすい一冊です。

カラヤンとフルトヴェングラー / 中川右介著

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 文庫・新書 762.3/Ka

世界最高のオーケストラとして有名なドイツのベルリン・フィルハーモニーの首席指揮者は歴代でわずか6人しかいません。カラヤンはその四代目にあたる指揮者で、クラシック音楽に詳しくない人でも名前は聞いたことがあるかもしれません。彼がベルリン・フィルの首席指揮者に就任するまでに、一体その背景では何が起こっていたのか、その歴史と人間のドラマに注目して読んでほしい一冊です。

2001年宇宙の旅 / スタンリー・キューブリック監督

大岡山 : B1F-リベラルアーツ資料 (AV資料) 778.253/St

すずかけ台 : 2F-リベラルアーツ資料 (AV資料) 778.253/St

「SF映画史上の最高傑作」と名高いこの作品、今年で製作されてから50周年となります。半世紀たってもなお色あせることもない美しい映像によって、人類の未来、AIの脅威がありありと映し出されます。この映画1つですべての映画が変わったといっても過言ではありません。どうしてそんなことが言えるのか。その答えはその目と耳で確かめてください。

「さようなら」の事典 / 窪田般弥, 中村邦生編著

大岡山 : B1F-一般図書 908.8/Ku

数々の文学作品、演劇、映画、手紙、墓碑銘などから、「死」「別れ」「終わり」をめぐる言葉を集めた事典。文豪の作品からの引用だけではなく、作者不明のものや、歴史的な演説の一節なども盛り込まれています。ぱらぱらとめくりながらお気に入りの言葉を見つけるのもよし、索引から好きな作家の言葉を引いてみるのもよし。人生のどこかで必ず訪れる「さようなら」に、一度ゆっくりと向き合ってみませんか。

もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら / 神田桂一, 菊池良著

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 和書 913.7/Ka

インターネット上の話題が文豪と出会ったらどうなる? 「もしも村上春樹がカップ焼きそばの容器にある「作り方」を書いたら——」

ツイッターで発信され、ネット上で広がったあのネタが、太宰治、三島由紀夫、夏目漱石といった文豪から、星野源、小沢健二などのミュージシャンまで、100の文体を真似して書籍化されました。読めば笑いを誘う一冊です。

The Da Vinci code : a novel / Dan Brown

すずかけ台 : 1F-ペリパトス文庫 : 洋書 933.7/B

What do we know about Leonardo Da Vinci's art? All his works are masterpieces without doubt. However, maybe it is not just an art. It is more... There is a hidden message, that was kept in the dark for centuries. The message, that can change the flow of the human history. The secret, that was strictly guarded and now ready to see the light. Find out what it is! Bring it to the light!

マルドロールの歌 / ロートレアモン伯爵 [著] ; 前川嘉男訳

大岡山 : B1F-リベラルアーツ資料 951.6/L

すずかけ台 : 2F-リベラルアーツ資料 951.6/L

「解剖台の上でのミシンとこうもり傘の～」のフレーズがあまりにも有名な『マルドロールの歌』ですが、読み進めているとこのほかにもロートレアモンの遺した破滅的なフレーズの数々が強烈に突き刺さることでしょう。中学生のときに感じていた「なんだかよくわからないけど、ムシャクシャする」気持ちをぶつきたい皆さんに読んでほしい一冊です。